

千葉県九十九里浜で観測した四角い太陽

大木淳一（国立歴史民俗博物館）

今回の日本蜃気楼協議会（以下、日蜃協）令和 8 年度総会・研究発表会は北海道立オホーツク
流氷科学センターで開催され、同センターの企画展「光のゆらゆら 蜃気楼をしってるかい？」
内第 3 章「日本各地の蜃気楼」にて日蜃協会員撮影の珠玉の蜃気楼写真や動画が多数展示されて
いる。

発表者も 10 点ほど出展しているが、その中に千葉県九十九里浜で撮影した四角い太陽の日の出
写真が 2 点ある。本発表ではこの四角い太陽の観測の様子を動画で紹介する。

●一重の四角い太陽（2025 年 7 月 25 日観測）（下図左参照）

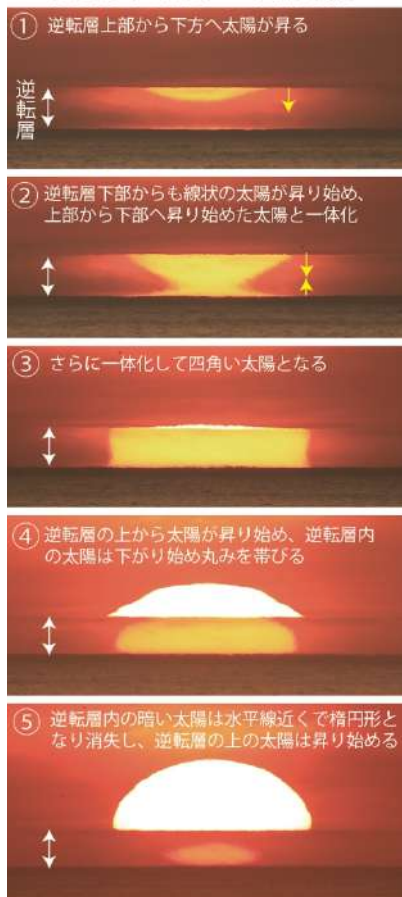
2025 年 7 月 21 日～28 日の 8 日間で 7 日ほど上位蜃気楼を観測した。そのうち、7 月
25 日・26 日と 2 日連続で四角い太陽を観測した。

●二重の四角い太陽（2022 年 6 月 27 日観測）（下図右参照）

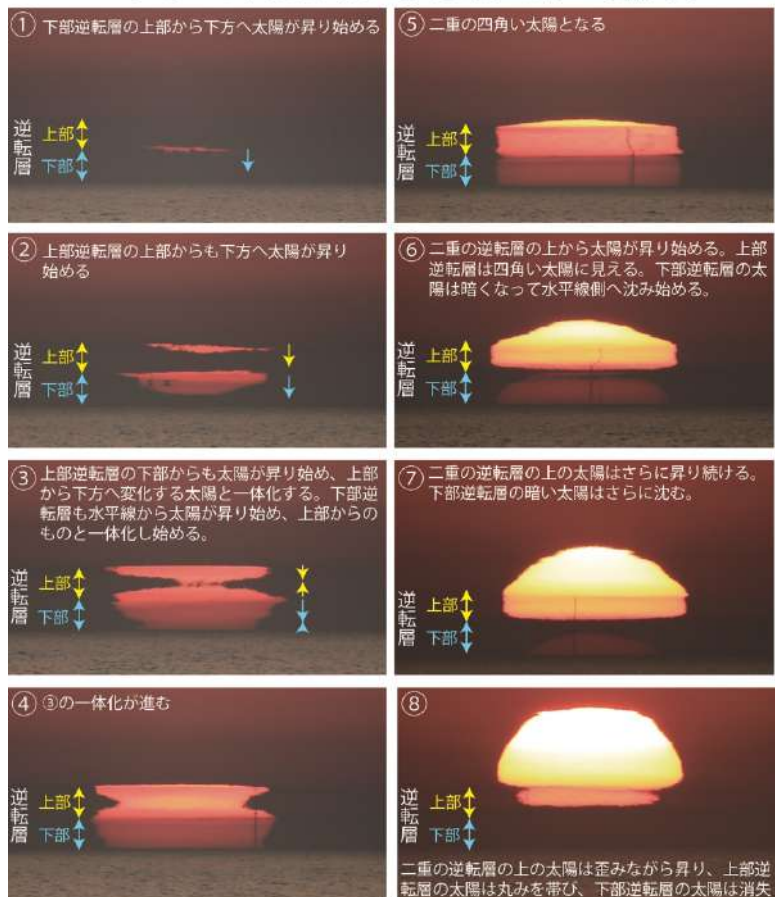
逆転層が二層に分かれていて、各層で特徴的な変化を観察した。

今回紹介した四角い太陽は長方形型であるが、太陽が昇り始めた後に上方に太陽が現れ、その
後一体となり台形型になる観測例もある（鈴木ほか, 2026）。さらに今回、銚子沖洋上風力発電所
と共に撮影した二重の四角い太陽を観測したことは、多様な四角い太陽の観測条件を解明する際、
低層や高層の温度構造を考察する上で制約条件を与える可能性があり意義深いと考える。

2025 年 7 月 25 日千葉県九十九里町
真亀海岸で観測した変形太陽



2022 年 6 月 27 日千葉県九十九里町真亀海岸で観測した変形太陽



【参考文献】鈴木建人・大木淳一・山口友樹（2026）文豪 徳富蘆花も見た九十九里浜の変形太陽。千葉中央博
研究報告.18(1):31-36.